



統計スポット情報

No. 89

H16.7.20

福井県総務部政策統計室

明暗分かれる業態別小売業

ホームセンターが大幅増、コンビニは終日営業がさらに進展

今回は、「平成14年商業統計業態別統計編（小売業）」（H16年2月公表）から、福井県の「小売業」の動向をみてみましょう。なお、平成14年調査において業態区分の見直し（「ホームセンター」および「ドラッグストア」を新設）を行ったことから、平成11年の数値は14年定義にあわせて組替したものを用いています。業態区分については、裏面「業態分類表」を参照してください。

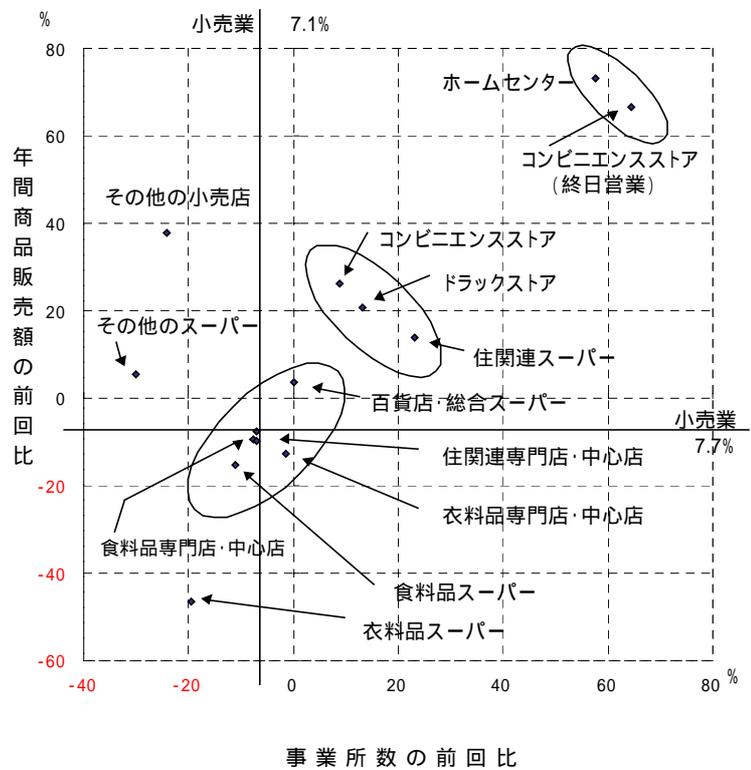
業態別事業所数と年間商品販売額の前回比

平成14年調査と前回平成11年調査を業態別に比較すると、小売事業所数の約9割を占める専門店・中心店が減少する一方、消費者ニーズや指向、ライフスタイルにマッチしたホームセンター、コンビニの終日営業店では、事業所数、年間商品販売額ともに前回値を大きく上回り、明暗を分けている。（図1）

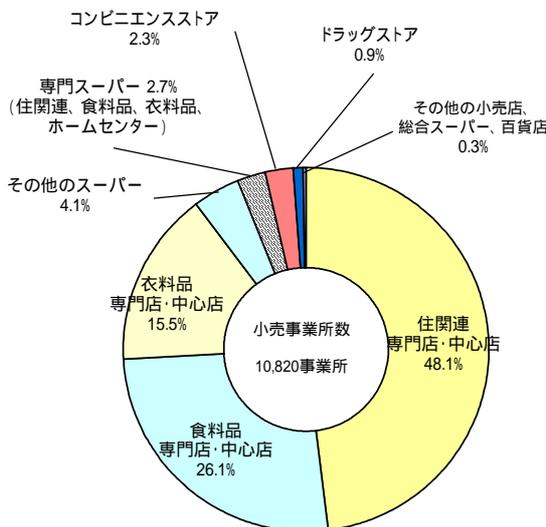
業態別事業所数と年間商品販売額の構成比

平成14年調査における小売業の事業所数は、10,820事業所、前回比7.1%と減少し、年間商品販売額は、905,181百万円、前回比7.7%と減少した。業態別にみると、専門店・中心店が9,704事業所と、中小規模の対面販売を主体とするこれら2業態で小売業全体の9割近くを占めているものの、年間商品販売額では全体の64%にとどまっている。（図2、図3）

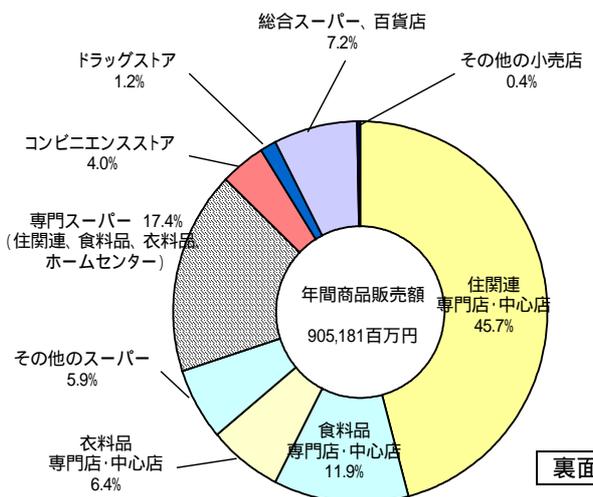
（図1）業態別の事業所数、年間商品販売額の前回比



（図2）業態別事業所数の構成比



（図3）業態別年間商品販売額の構成比



裏面に続く

業態別事業所数、従業者数、年間商品販売額（小売業）

業態分類	14年調査					11年調査			対前回比（増減）		
	事業所数	事業所数 （構成比） %	従業者数 （人）	年間商品 販売額 （百万円）	年間商品 販売額 （構成比） %	事業所数	従業者数 （人）	年間商品 販売額 （百万円）	事業所数 %	従業者数 %	年間商品 販売額 %
福井県計	10,820	100.0	56,335	905,181	100.0	11,646	55,541	980,977	7.1	1.4	7.7
百貨店および総合スーパー	12	0.1	2,542	65,092	7.2	12	2,123	62,809	0.0	19.7	3.6
専門スーパー	289	2.7	6,843	157,304	17.4	302	6,886	183,819	4.3	0.6	14.4
衣料品スーパー	58	0.5	655	11,497	1.3	72	891	21,521	19.4	26.5	46.6
食料品スーパー	135	1.2	4,727	113,327	12.5	152	4,902	133,777	11.2	3.6	15.3
住関連スーパー	96	0.9	1,461	32,479	3.6	78	1,093	28,521	23.1	33.7	13.9
うちホームセンター	41	0.4	824	20,294	2.2	26	402	11,727	57.7	105.0	73.1
コンビニエンスストア	250	2.3	3,064	35,783	4.0	230	2,369	28,363	8.7	29.3	26.2
うち終日営業店	209	1.9	2,732	31,952	3.5	127	1,715	19,195	64.6	59.3	66.5
ドラッグストア	95	0.9	490	11,073	1.2	84	356	9,166	13.1	37.6	20.8
その他のスーパー	448	4.1	2,739	53,090	5.9	641	3,011	50,400	30.1	9.0	5.3
専門店および中心店	9,704	89.7	40,485	579,358	64.0	10,348	40,669	643,892	6.2	0.5	10.0
衣料品専門店・中心店	1,678	15.5	4,800	58,285	6.4	1,700	4,618	66,891	1.3	3.9	12.9
食料品専門店・中心店	2,822	26.1	11,040	107,343	11.9	3,054	10,650	118,584	7.6	3.7	9.5
住関連専門店・中心店	5,204	48.1	24,645	413,730	45.7	5,594	25,401	458,417	7.0	3.0	9.7
その他の小売店	22	0.2	172	3,481	0.4	29	127	2,528	24.1	35.4	37.7

別表「業態分類表」

業態分類	セルフ	取扱商品	売場面積	営業時間	備考
百貨店および総合スーパー					
1 百貨店	×	(注)			「百貨店、総合スーパー」とは、衣・食・住にわたる商品を小売し、そのいずれも小売販売額の10%以上70%未満の範囲内にある事業所で、従業者が50人以上の事業所という。
2 総合スーパー					
3 専門スーパー					
衣料品スーパー		衣が70%以上	250㎡以上		
食料品スーパー		食が70%以上			
住関連スーパー		住が70%以上			家具・什器・家庭用機械器具、その他
うちホームセンター		住関連スーパーのうち「金物」+「荒物」+「苗・種子」が70%未満			
4 コンビニエンスストア		飲食料品を取り扱っていること	30㎡以上 250㎡未満	14時間以上	
5 ドラッグストア		医薬品（調剤薬局を除く）を扱っていること			
6 その他のスーパー					2,3,4,5 以外のセルフ店
7 専門店および中心店					
衣料品専門店・中心店	×	衣が50%以上			自動車・自転車、家具・什器・家庭用機械器具、その他
食料品専門店・中心店		食が50%以上			
住関連専門店・中心店		住が50%以上			
8 その他の小売店	×				1,7 以外の非セルフ店

(参考) 経済産業省 商業統計調査: <http://www.meti.go.jp/statistics/index.html>